国立大学法人大阪大学総長選考・監察会議委員の選出方法及び選出理由について

■教育研究評議会選出委員

１．総長選考・監察会議委員（氏名五十音順）

熊ノ郷　淳	大学院医学系研究科長
関野　　徹	産業科学研究所長
瀧口　　剛	大学院法学研究科長
竹村　景子	外国語学部長
林　美加子	歯学部附属病院長
深瀬　浩一	大学院理学研究科長

２．選出方法

（１）教育研究評議会において、教育研究評議会規程第 2 条第 1 項第 4 号から第 11 号までの評議員（総長、理事及び副学長が兼ねる場合は除く。）を、戦略会議の構成をベースとした専門分野別にⅰ．人文学・社会科学系、ⅱ．理工情報系、ⅲ．医歯薬生命系の 3 つのグループに分け、グループ毎に 2 名の総長選考・監察会議委員候補者（以下「委員候補者」という。）を選出することとした。

（２）各グループにおいて、別紙 1～3 のとおり委員候補者を選出した。

（３）教育研究評議会において、各グループにおける選出結果（委員候補者氏名、選出方法、選出理由）を確認し、それぞれから報告のあった委員候補者 6 名を総長選考・監察会議委員として決定した。

３．選出理由

別紙 1～3 のとおり

別紙１

【人文学・社会科学系グループ選出結果】

１．選出された総長選考・監察会議委員候補者（氏名五十音順）

瀧口　　剛　　大学院法学研究科長

竹村　景子　　外国語学部長

２．選出方法

委員候補者の選出に先立ち、利益相反に係る自己申告を求めたところ、申告者はなかった。

続いて、委員候補者の選出方法について審議し、次のとおり決定した。

①　専門分野に係るバランスに配慮するため、人文学・社会科学系グループを、人文学系グループと社会科学系グループの２つの小グループに分け、各々1名ずつ候補者を選出すること。

②　各小グループは、それぞれ選出方法の検討を行った上で候補者を選出し、人文学・社会科学系グループ全体に報告すること。

③　透明性・公正性の担保のため、各小グループから報告された候補者について、人文学・社会科学系グループ全体で審議のうえ、最終的な候補者として選出すること。

引き続き、人文学系グループと社会科学系グループに分かれ、それぞれにおいて選出のための議論を行った結果、人文学系グループから竹村景子外国語学部長、社会科学系グループから瀧口剛法学研究科長が候補者として選出された。

その後、人文学・社会科学系グループ全体での審議を再開し、各小グループから選出結果及び選出理由の報告を行い、審議の結果、全会一致でこれを承認した。

３．選出理由

令和４年４月の国立大学法人法の改正により、総長選考・監察会議の役割はより一層重要なものとなった。国等からは、これまで以上に透明性及び公正性を確保した会議運営や、学長選考・監察会議委員に係る利益相反の防止や政治的中立性の確保が求められており、こうした要請に応え得る人物を選ぶことを出席者全員で確認した。

また、各小グループにおける選出に際しては、総長選考会議委員、戦略会議議長及び部局長としての経験や知見の観点を考慮するものとし、上記２．の方法により、上記１．の２名を選出した。

４．選出実施日　令和４年６月 29 日（水）

【理工情報系グループ選出結果】

１．選出された総長選考・監察会議委員候補者（氏名五十音順）

関野　　徹　　産業科学研究所長

深瀬　浩一　　大学院理学研究科長

２．選出方法

委員候補者の選出に先立ち、利益相反に係る自己申告を求めたところ、２名から申告があり、それぞれについて現総長との関係性や利益相反の内容、時期を確認の上、慎重に審議した結果、過去において利益相反に関わる事由は存在するものの、現時点において議論に加わることを妨げるほどの直接的な強い影響下にあるとは認められないことから、両名とも本グループからの候補者として選出対象とはしないが、選出の議論を行うメンバーから排斥しないこととした。

続いて、委員候補者の選出方法について審議し、次のとおり決定した。

① 委員候補者に相応しい人物として、高い倫理観と公平性を備え、個人の良心や高い見識に基づき適切に職務を全うできる者を選出すること。

② 次の各種バランスに配慮するものとし、何れを重視するかは各自が判断すること。

・研究科と研究所・センターの別

・キャンパス所在地（吹田地区・豊中地区）の別

・総長選考会議委員としての継続性と新規性の別

③ 候補者は投票により決するものとし、また各種バランスに配慮することができるよう、まず１名を決定し、その人物を見た上で次の投票を行い、もう１名を決定すること。

その後、1 回目の投票を行い、得票最多数の者として深瀬理学研究科長が選出された。引き続き、2 回目の投票を行い、得票最多数の者として関野産業科学研究所長が選出された。

３．選出理由

総長の選考や監察など重要な職務を担う総長選考・監察会議の委員候補者として、高い倫理観と公平性を備え、個人の良心や高い見識に基づき適切に職務を全うできる者を選ぶことを出席者全員で確認し、上記２．の方法により、上記１．の２名を選出した。

４．選出実施日　令和４年７月６日（水）

【医歯薬生命系グループグループ選出結果】

１．選出された総長選考・監察会議委員候補者（氏名五十音順）

熊ノ郷　淳　　大学院医学系研究科長

林　美加子　　歯学部附属病院長

２．選出方法

委員候補者の選出に先立ち、利益相反に係る自己申告を求めたところ、申告者はなかった。

続いて、委員候補者の選出方法について審議し、次のとおり決定した。

① 委員の選出においては、公正性、透明性を最重要視して選考を行うことを確認した。

② 委員候補者に相応しい人物として、専門分野や部局の規模、研究科・研究所・附属病院といった異なる設置形態による部局の特性の違い等を広く俯瞰的に見渡し、公平な立場で大阪大学の発展に貢献できる者を選出すること。

③ 委員候補者は次の方法により選出すること。

・二名連記方式の投票を行う

・投票の結果、得票最多数の者は、委員候補者として決定する

・得票数が次点の者は、過半数を得ていれば委員候補者として決定し、過半数を得られていない場合は、その者を対象に審議を行い、過半数の賛成が得られれば委員候補者として選出する

・得票同数の場合は、当該同数の者を対象に再度投票を行う。なお、得票数次点の者が同数となる場合は、過半数を得る者が出るまで投票を行う

・投票の結果、同一部局の者が得票最多数及び次点となる場合は、次点の者は選出しないものとする

その後、投票を行い、得票最多数の者として熊ノ郷医学系研究科長が選出された。引き続き、得票数が次点であった林歯学部附属病院長について、過半数に満たなかったため審議を行い、その結果、全会一致で賛成され同人が選出された。

３．選出理由

上記２．②の条件を満たす総長選考・監察会議の委員候補者として、上記２．③の方法により、上記１．の２名を選出した。

４．選出実施日　令和４年７月 11 日（月）

国立大学法人大阪大学総長選考・監察会議委員の選出方法及び選出理由について

■教育研究評議会選出委員

１．選出した総長選考・監察会議委員（氏名五十音順）

熊ノ郷　淳　　大学院医学系研究科長

敦賀　貴之　　社会経済研究所長

２．選出方法

（１）教育研究評議会において、教育研究評議会規程第２条第１項第４号から第 11 号までの評議員（総長、理事及び副学長が兼ねる場合は除く。）を、戦略会議の構成をベースとした専門分野別にⅰ．人文学･社会科学系、ⅱ．理工情報系、ⅲ．医歯薬生命系の３つのグループに分け、グループ毎に２名の総長選考・監察会議委員候補者（以下「委員候補者」という。）を選出することとしている。

（２）任期満了となった評議員が在籍するⅰ．人文学・社会科学系及びⅲ．医歯薬生命系グループにおいて、別紙１及び２のとおり各１名委員候補者を選出した。

（３）教育研究評議会において、各グループにおける選出結果（委員候補者氏名、選出方法、選出理由）を確認し、それぞれから報告のあった委員候補者２名を総長選考・監察会議委員として決定した。

３．選出理由

別紙１及び２のとおり

【人文学・社会科学系グループ選出結果】

１．選出された総長選考・監察会議委員候補者
　　敦賀　貴之　　社会経済研究所長

２．選出方法
　委員候補者の選出に先立ち、利益相反に係る自己申告を求めたところ、申告者はなかった。
　続いて、委員候補者の選出方法について審議し、次のとおり決定した。
　①　透明性及び公正性を確保した会議運営や、利益相反の防止や政治的中立性の確保が求められており、こうした要請に応え得る人物を選考すること。
　②　専門分野に係るバランスに配慮するため、人文学・社会科学系グループを、人文学系グループと社会科学系グループの 2 つの小グループに分け、今回は社会科学系グループの委員の任期満了に伴う委員候補者の選出であることから、同グループから１名の委員候補者を選出すること。
　③　社会科学系グループにおいて選出方法の検討を行った上で委員候補者を選出し、人文学・社会科学系グループ全体に報告すること。
　④　透明性・公正性の担保のため、社会科学系グループから報告された候補者について、人文学・社会科学系グループ全体で審議のうえ、最終的な候補者として選出すること。
　引き続き、社会科学系グループのメンバーが別室に移り、選出のための議論を行った結果、敦賀貴之社会経済研究所長が委員候補者として選出された。
　その後、人文学・社会科学系グループ全体での審議を再開し、選出結果及び選出理由の報告を行い、審議の結果、全会一致でこれを承認した。

３．選出理由
　上記２．①の条件を満たす総長選考・監察会議の委員候補者として、複数年にわたる部局長としての経験や知見の観点を考慮するものとし、上記２．②から④の方法により、上記１．の者を選出した。

４．選出実施日　令和 5 年 4 月 19 日（水）

【医歯薬生命系グループ選出結果】

１．選出された総長選考・監察会議委員候補者
　　熊ノ郷　淳　　大学院医学系研究科長

２．選出方法
　委員候補者の選出に先立ち、利益相反に係る自己申告を求めたところ、申告者はなかった。
　続いて、委員候補者の選出方法について審議し、次のとおり決定した。
　①　委員候補者の選出においては、公正性、透明性を最重要視して選考を行うことを確認した。
　②　委員候補者に相応しい人物として、専門分野や部局の規模、研究科・研究所・附属病院といった異なる設置形態による部局の特性の違い等を広く俯瞰的に見渡し、公平な立場で大阪大学の発展に貢献できる者を選出すること。
　③　委員候補者は次の方法により選出すること。
　・単記無記名投票により行う。
　・投票の結果、過半数を得た者を委員候補者として決定する。
　・過半数を得た者が無い場合は、得票数上位２名について再投票を行い、過半数を得た者を委員候補者として決定する。再投票の結果、得票同数の場合は、②の条件をより満たす者を審議のうえ決定する。

　その後、投票を行い、過半数を得た者として熊ノ郷医学系研究科長が選出された。

３．選出理由
　上記２．②の条件を満たす総長選考・監察会議の委員候補者として、上記２．③の方法により、上記１．の者を選出した。

４．選出実施日　令和５年４月 19 日（水）